

2 目 標 達 成 計 画

事業所名 グループホーム桃の家

作成日 平成 31 年 4 月 15 日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	5・7	身体拘束をしないケアに取り組んでいる点について、職員の身体拘束についての理解に個人差がある	身体拘束について職員自身が日々のケアを振り返り、毎月の研修の中で身体拘束のないケアについて確認する	朝のミーティング 職員研修にて身体拘束について理解、確認する	12か月
2	26	チームで作る介護計画とモニタリングについて、利用者ご本人がよりよい暮らしに近づくための職員同士の意見やアイデアが反映されないままの介護計画になっていないか。	本人、家族の意向を確認し職員同士で介護計画の内容をしっかりと把握し、実践する。その上で、3か月ごとのモニタリングを職員全員で行う。	朝のミーティング 職員研修で本人、家族の意向を確認、理解し職員同士、意見交換しながら、日々のケアに取り組む	12か月
3	27	個別の記録と実践への反映について、日々の様子、ケアの実践の記録の漏れがあり、職員間での情報の共有がなされず実践に結びついていない。	タブレットによる記録、気づきノートの活用、業務日誌などでご利用者の日々の様子を確認し、情報共有する。	職員でタブレットによる入力の仕事をしっかりマスターする。日々のご利用者の様子について職員間で確認を行う。気づきノートも活用し、細かな様子も確認する。	12か月
4	34	急変時事故発生時の備えて、すべての職員が、応急手当や初期対応についての実践力を身に付けているか、職員間で差がある。	対応マニュアルに沿って職員自身、研修を通して実践力を身に付けることができる。職員同士で確認し合える環境をつくる。	職員研修を通して全員が緊急対応できるようお互いに実践力の確認を行い、スキルアップを図る。	12か月
5		認知症についての理解度に職員間で温度差がある。	職員間のスキルアップの為にもお互いに声を出し合ったり気づき合える環境づくりに努める。	朝のミーティング、職員研修で日々感じている認知症ケア・技術を声に出し確認する。ストレスを貯めない。	12か月